

設計課題「趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅」(木造2階建)

1. 設計条件

・親子二世帯住宅で暮らす祖母と孫(女子中学生)の共通の趣味(フラワーアレンジメント)とする趣味室のある専用住宅を計画する。計画に当たっては次の ~ に留意すること。

- 1階の趣味室は居間や食事室・台所、親夫婦室から出来るだけ離して設ける。
- 1・2階の各居室はは日当りに考慮する。
- 高齢者に配慮した計画とする。

(1)敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は下図の通りである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び下水道は完備している。

(2)構造及び階数

木造2階建とする。

(3)延べ面積

180m²以上、210m²以下とする。
(ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース等は床面積に算入しない。)

(4)家族構成

親夫婦(70歳代)、子夫婦(40歳代)、子供1人(女子中学生)

(5)要求室

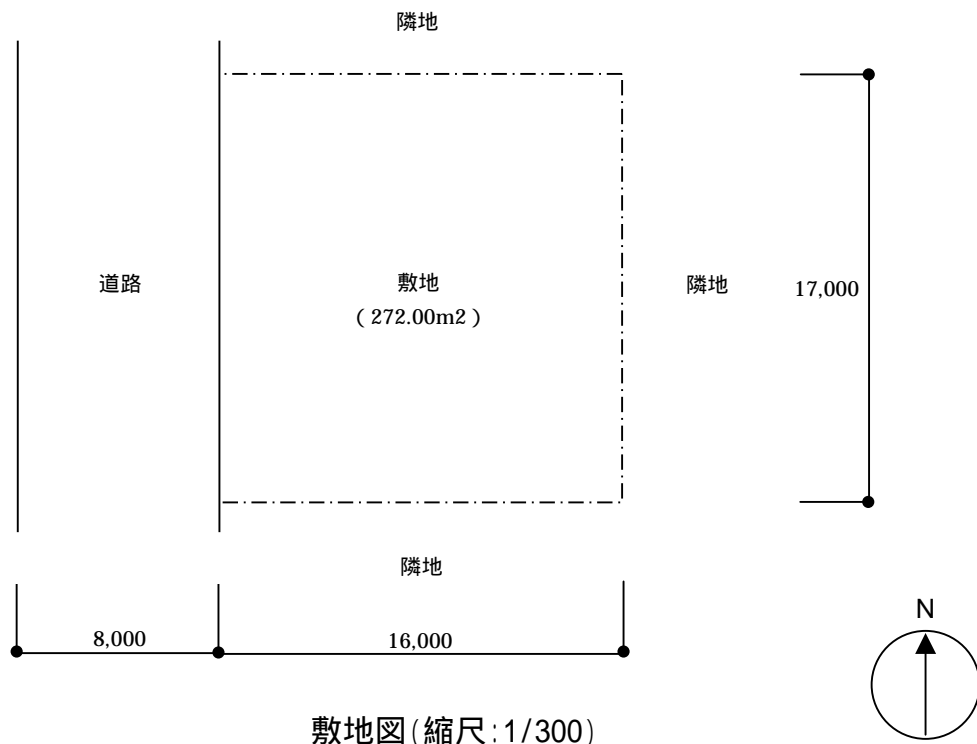
下記の所要室は、全て計画する。

		特記事項
玄関ホール	1階	
居間	1階	ア. 洋室 16m ² 以上とする。 イ. 週末には子夫婦と共に過ごせるようにする。 ウ. 日当りに考慮する。
食事室・台所	1階	ア. 洋室 13m ² 以上とする。 イ. 居間と直接行き来できるようにする。 ウ. 日当りに考慮する。
趣味室	1階	ア. 洋室 23m ² 以上とし、その他に収納と流し台を設ける。 イ. 居間、食事室・台所から離れた位置とする。
夫婦室(親)	1階	ア. 洋室 13m ² 以上とし、その他に衣装室(洋室 6m ² 以上)を設ける。 イ. 日当りに考慮する。
便所	1階	・広さは芯々1,365 × 1,365mm 以上とする。
浴室	1階	・3m ² 以上とする。
洗面脱衣室	1階	・3m ² 以上とする。
納戸	1階	・洋室 4m ² 以上とする。
居間・食事室・台所	2階	ア. 洋室 26m ² 以上とし、対面キッチンとする。 イ. 日当りに考慮する。
夫婦室(子)	2階	ア. 洋室 16m ² 以上とし、その他に収納を設ける。 イ. 日当りに考慮する。
子供室(1室)	2階	ア. 洋室 9m ² 以上とし、その他に収納を設ける。 イ. 日当りに考慮する。
便所	2階	・広さは芯々1,365 × 1,365mm 以上とする。
浴室	2階	・3m ² 以上とする。
洗面脱衣室	2階	・3m ² 以上とする。
納戸	2階	・洋室 4m ² 以上とする。

・1階の廊下の幅は芯々1,365mm 以上とする。

(6)駐車スペース、駐輪スペース

- ア. 敷地内に小型乗用車(5人乗り)2台分の屋外駐車スペースを設け、屋外駐輪スペース2台分を設ける。
- イ. 1階の居間、食事室・台所の南側に屋外ウッドデッキ(4m以上 × 10m以上)を設ける。



2. 建築物

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛りは4.55mm(矩計図にあっては、10mm)である。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 1階平面図兼配置図に門、塀、植栽、駐車スペース等を記入する。
(2)2階平面図 (1/100)	ウ. 室名を記入する。 エ. 台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。 オ. 趣味室に、作業台(L1800 × W900)を記入し、ミニキッチンを設ける。 カ. 「通し柱」を印で囲み、「耐力壁」に印を付ける。 (注)「耐力壁」とは筋カイ等を設けた構造上有効な壁をいう。 キ. 2階平面図に、1階屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 ク. 矩計図の切断位置を記入する。
(3)2階床伏図兼1階小屋伏図 (1/100)	ア. 2階床伏図には胴差、床梁、2階根太等の名称及断面寸法を記入する。 イ. 通し柱、1階の管柱、2階の管柱の位置及寸法を記入する。 ウ. 1階小屋伏図の軒桁、小屋梁、小屋束、もや、たるきの名称及び断面寸法を記入する。 エ. 小屋伏図には軒出及びその寸法を明示する。 オ. 2階床伏図、1階小屋伏図にはそれぞれ火打ち梁を記入する。
(4)矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1・2階の開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は柱芯から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、柱、大引き、1階根太、胴差し、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部分(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(5)面積表	建築面積、床面積及び延べ面積を答案用紙の面積表に記入する。 ア. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 イ. 数値は小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

3. その他

次の試験については、上記のほか、下記による。

北海道の試験

- (1)設計条件
北海道の気象条件に合うような防寒構造とする。
- (2)要求図書の特記事項
ア. 平面図に、暖房設備の方式又は機器を記入する。
イ. 矩計図に 想定した凍結深度 基礎の凍上防止措置 壁、天井、床等の断熱、防湿等の防寒措置を記入する。

図面には必ず、住所・氏名・メールアドレスを記載すること。
添削締切8月30日消印有効です。速達で送らなくても結構です。
4つ折角2号封筒程度でお送りください。